

プログラム

「平和のための文化イニシアティブの役割：日独からの提言」

主催：国際交流基金、ゲーテ・インスティトゥート

共催：毎日新聞社（15日）

協力：青山学院大学国際交流共同研究センター

1. 趣旨

グローバル化が進む現在、これまでの戦争がなければ平和という「戦争と平和」の二者択一の世界から様々な「戦争未満」の状況が人々の平和を損なう状況となっている。そのため長期的な視野に立った貧困撲滅、格差の解消、そして他者を認め平和を希求する心を育むことの大切さに目を向けている。そのような今日において、文化・芸術活動や青少年交流が、より平和な国際・地域間関係の創造のために果し得る役割は、紛争前の対立状態にある地域における信頼醸成のため、また紛争後の相互信頼回復のためなど多岐にわたる。

国際交流基金とゲーテ・インスティトゥートの事例をもとに、平和のために文化事業に求められる役割はどのようなものか、より効果的なインパクトを残すためにはどのような事業実施が望ましいのか、文化事業実施の際の難点・留意すべき点とは何かを議論する。

2. 日程：2009年5月14日（木） 9時30分～17時、非公開ワークショップ
17時～18時 簡易レセプション
2009年5月15日（金） 15時～18時、公開シンポジウム
18時～19時、レセプション
19時30分～ゲーテ・インスティトゥートによる映画上映

3. 場所：14日：国際交流基金本部2階さくらホール
15日：ドイツ文化会館（ドイツ文化センター）

4. プログラム

(1) 2009年5月14日（木）非公開ワークショップ（和英同時通訳）

9:30-9:45 開会

小倉和夫 国際交流基金理事長

ハンス＝ゲオルグ・クノップ ゲーテ・インスティトゥート事務総長

ハンス＝ヨアヒム・デア 駐日ドイツ連邦共和国大使

9:45-13:00 第1セッション：アーティストによる事例紹介および評価

国際交流基金とゲーテ・インスティトゥートによる最近の事業に参画したアーティストたちによる事例報告を行う。事例紹介に続き、各事業の評価のためのコメント、受け入れ地域からの感想・所感等、受け入れ側からの視点に立った議論も行う。

議長：クリストフ・バルトマン（事例2）

ウーヴェ・シュメルター（事例4）

高橋毅（事例1および3）

1. 井上廣子 造形美術家
「Inside-Out：世界のフィールドワークから見えてきた現実と表現」
2. ヘレーナ・ヴァルトマン 演出家・振付家
「ブルカによる束縛」
リタ・ザクセ＝トゥサーン ゲーテ・インスティトゥートカブール所長
「アフガニスタンにおける文化発展：カブール国際ドキュメンタリー・短編映画祭、演劇フェスティバル」
3. 白瀉八洲彦 砥部焼伝統工芸士
「イスタリフ焼との出会いと今後」
永岡泰則 陶芸家
「イスタリフ焼を伝統の薪窯からガス窯へ」
4. エーバーハルト・ユンカースドルフ ドイツ映画協会会長（欠席のため代読）
「ドイツと朝鮮半島の映画事業協力のためのグローバルな映画協力」
ウリ・ガウルケ 映画監督
「夢の中の同志～ ドイツー朝鮮半島の初の映画共同制作事業：その開発と国際的な評価～」

13:00-14:30 昼食：ランチョンスピーチ

進行役：福島安紀子国際交流基金特別研究員

ロナルド・グレーツ 対外文化関係研究所（IFA）事務総長

門司健次郎 外務省大臣官房広報文化交流部長

14:30-17:00 第2セッション：平和のための文化イニシアティブの理念および役割

モデレーター：高橋毅 国際交流基金参与

基調講演：小倉和夫 国際交流基金理事長

ハンス＝ゲオルグ・クノップ ゲーテ・インスティトゥート事務総長

【パネリスト】

ハンス＝ゲオルグ・クノップ ゲーテ・インスティトゥート事務総長

ロナルド・グレーツ 対外文化関係研究所（IFA）事務総長

平野 健一郎 東京大学・早稲田大学名誉教授

西川恵 毎日新聞社

小倉和夫 国際交流基金理事長

渡辺靖 慶應義塾大学教授

(2) 2日目：5月15日(金) 公開シンポジウム (和英同時通訳)

15:00 開会・基調講演

歓迎の辞 ウーヴェ・シュメルター ゲーテ・インスティトゥート東京所長

来賓挨拶 松永文夫 外務省広報文化交流部部長代理

【基調講演】

小倉和夫 国際交流基金理事長

ハンス＝ゲオルグ・クノップ ゲーテ・インスティトゥート事務総長

15:45-16:45 第1セッション：実践者による報告および評価

モデレーター：ウーヴェ・シュメルター

【報告】

井上廣子 造形美術家

「Inside-Out：世界のフィールドワークから見えてきた現実と表現」

ファリード・マジヤーリ ゲーテ・インスティトゥート ベイルート所長

「行き詰まりの先に ～紛争解決における芸術の役割～パレスチナ、イスラエル、
レバノンの文化協力～」

白濁八州彦 砥部焼伝統工芸士

「イスタリフ焼との出会いと今後」

永岡泰則 陶芸家

「イスタリフ焼を伝統の薪窯からガス窯へ」

16:45-18:00 第2セッション：パネル討論

モデレーター：西川恵 毎日新聞社

【パネリスト】

平野健一郎 東京大学・早稲田大学名誉教授

ハンス＝ゲオルグ・クノップ ゲーテ・インスティトゥート事務総長

ファリード・マジヤーリ ゲーテ・インスティトゥート ベイルート所長

小倉和夫 国際交流基金理事長

ヘレーナ・ヴァルトマン 演出家・振付家

渡辺靖 慶應義塾大学教授

18:00 閉会 ゲーテ・インスティトゥートおよび国際交流基金

18:00-19:00 レセプション

19:30 ゲーテ・インスティトゥートによる映画上映

“Comrades in Dream” by Uli Gaulke & ドキュメンタリー “My Kabul”